

# 県立葉山公園

## 平成 22 年度実績報告書

海辺の環境に親しみ・景観を愛でる・

心がなごむ公園づくり



公益財団法人神奈川県公園協会

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
1 施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針										補足資料
【葉山公園】 海浜の景観を望み・気を養う公園づくり	海越しに江ノ島と富士の絵画的な景観を望むことのできる、風格のあるビューポイントとしての環境を継承	○	○	●	●	●	毎日実施する園内清掃、トイレ清掃等や管理水準以上の除草、刈り込み等を実施公園の品位を常に保つ努力をしている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。		
	御用邸の静穏で格調のある佇まいとのつながりを本公園の財産として、落ち着いた公園環境を保全	○	○	●	●	●	毎日実施する園内清掃、トイレ清掃等や管理水準以上の除草、刈り込み等を実施公園の品位を常に保つ努力をしている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。		
	海浜環境を代表する植物（クロマツ林とハマナス）と、その環境を保護育成	○	○	●	●	●	観音崎自然博物館との連携で海浜植物（イソギク他7種）の植栽を実施し保護育成した。	今後も継続実施し、育成状況の確認を実施。		
県民の誇りと豊かな地域の暮らしを培う公園づくり	学校や地域団体の生涯学習活動の場の提供	○	○	●	●	●	地元の幼稚園の遠足や運動会の会場として利用されている。	地元小中学校への校外学習の拠点としてPRしていく。		
	ボランティア活動を積極的に受け入れる近隣の暮らしとの共存に配慮	○	○	●	●	●	地元のビーチクリーン活動の場としての提供。	ボランティア活動導入に向けた受入体制の確保。		
松林での一時を安全安心快適に楽しめる公園づくり	夏の海水浴シーズンを始め、奥まった立地にある駐車場を、円滑に運用	○	○	●	●	●	繁忙期には国道からの入口にも誘導員を配置し、狭小なアプローチ道路の安全を確保。	今後も混雑時に臨機応変に誘導員を配置して安全を確保する予定。		
	安全で安心な施設管理	○	○	●	●	●	駐車場内の誘導を的確に行い無事故管理に努めた。	今後も安全を最優先した駐車場管理に努める。		
	利用案内や利用指導、美しい花壇管理、快適な利用を提供し、来園者との交流を大切に管理運営	○	○	●	●	●	公園内でのバーベキュー禁止について、利用者に理解と協力を求め指導した。	今後も利用者に理解と協力を求めながら火気使用禁止の指導を行う。		
【はやま三ヶ岡山緑地】 海浜丘陵地の環境を保全継承する緑地管理	首都圏近郊緑地特別保全地区として広域な観点からも貴重な存在である良好な自然の環境を有する緑地を保全管理	○	○	●	●	●	園路沿いのトリカブト等の山野草の植生に配慮しながら除草を行い、通行の安全確保と環境保全の両立を図る維持管理を実施	今後も植生調査に基づいた的確な植生保全と維持管理を実施		
	葉山町の背景の緑として重要な存在である一団の緑地を保全	○	○	●	●	●	園路沿いのトリカブトの植生に配慮しながら除草を行い、通行の安全確保と環境保全の両立を図る維持管理を実施	今後も植生調査に基づいた的確な植生保全と維持管理を実施		
	浸食による地形の崩落や台風等による倒木など樹林地の荒廃や災害を未然に防ぐための措置	○	○	●	●	●	民地との境界にある危険木の伐採、枝おろしを昨年度に引き続き継続実施。	危険木については巡視時に注意をしながら早期に対応		
丘陵地のみどりの大切さを伝え地域で育てる森づくり	常緑樹の樹林、豊かな林床植物、そして豊富な蝶や野鳥などの魅力を発信し、自然保護団体等との協働で観察会を開催	○	○	●	●	●	バードウォッチングを開催し、参加者から好評を得た。	今後も定期的に四季折々の自然環境の紹介を観察会を通じて行う。		
	小中学校の環境学習活用ニーズや各種団体の生涯学習活動としての要請には積極的に応える	○	○	●	●	●	葉山小学校低学年の遠足地として利用されている。	植生ガイドマップ等の整備を予定		
葉山のハイキングを安全安心快適に楽しめる施設管理	清掃ハイキングなど、志のあるボランティア活動を積極的に受け入れると共に近隣の暮らしとの共存に配慮	○	○	●	●	●	観察ハイキングを実施	ボランティア活動導入に向けた受入体制の確保。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
2 本公園の管理に向けた参加意欲及び抱負等										
										補足資料
【葉山公園】 「江ノ島、富士を望む雅の空間」の継承		園内に林立するクロマツの魅力高めるため、樹木医の指導の下、園内のクロマツ台帳を作成し、既存樹木の活力を高め、実施内容等を記録し、保護育成	○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員の下マツの診断を実施し保全育成に努めている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
		大浜海岸、はまなす花園、芝生広場と一連の立地に対して、安全で安心に、快適な眺望景観を楽しむよう適切に管理運営	○	○	●	●	●	毎日実施する園内清掃、トイレ清掃等や管理水準以上の除草、刈り込み等を実施公園の品位を常に保つ努力をしている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
気持ち良く過ごせるサービスの提供		はまなす花園につづく花の見所づくりとして、季節が感じられる花壇等の演出	○	○	●	●	●	新たに観音崎自然博物館の協力によりスイセンの植栽を実施し、花の見所を作った。	今後も四季折々の彩りを添える花壇管理を推進。	
		的確な施設点検や利用状況に応じた清掃管理を行い、トイレや休憩所など安全で安心に、快適な利用できるよう適正な管理運営	○	○	●	●	●	毎日実施する園内清掃、トイレ清掃等や管理水準以上に実施し、公園の品位を常に保つ努力をしている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
		公園に求められる機能や要望は大きく変化していく中で、公園の魅力を保ち、くつろいでもらうため、公園スタッフの良好な接遇	○	○	●	●	●	接遇研修を昨年度に引き続き現地にて実施。	今後も継続して研修を実施予定。	
地域との連携による公園の魅力アップ		地域との連携による利用促進をさらに充実し、地域一丸となった公園の盛り上げ	○	○	●	●	●	9月に地元市民団体との共催による「洋之介ファンフェスタ」開催に協力。	「洋之介ファンフェスタ」の定期開催に向けた積極的な支援を行う。	
		園内で展開するボランティア活動を立上げ、花壇等県民参加型の管理運営を確立	▲	▲	●	●	●	ボランティア市民の把握が不十分	ボランティア活動導入に向けた受入体制の確保。	
【はやま三ヶ岡山緑地】 「葉山の緑のシンボル」の継承		地域に親しまれる緑地とするために、三ヶ岡山の自然生態の素晴らしさを県民に広く紹介し、自然を体験する機会を作り	○	○	●	●	●	ホームページを通じて園内マップを紹介しPRを実施	ホームページを有効に活用しPRに繋げる。	
		「富士見百景」に選定された展望デッキ、広場や園路から望める景観を保全し、来園者に眺望を堪能するためのビューポイントの整備	○	○	●	●	●	景観確保の剪定を実施し展望を確保。	展望デッキや階段園路の補修に向けて土木と連携して実施予定。	
		「都市林」としての設置目的を十分に捉え、豊かな自然環境、動植物の保護育成に努め、適正な維持管理	○	○	●	●	●	希少植生の分布に配慮しながら除草管理を実施	今後も継続実施。	
気持ち良く過ごせるサービスの提供		はやま三ヶ岡山緑地は、県内のハイキングコースとして位置づけられているため、安全で安心して、快適に散策ができるよう、適正な保守	○	○	●	●	●	老朽化した園路の補修を直営で実施。	園路の補修・改修等については直営対応と県土木対応を見極め的確に対応を推進。	
		園内にある多くの草花や樹木に、樹名板等の設置整備を充実し、快適な散策を演出	○	○	●	●	●	設置済みの老朽化した樹名板の更新。	必要な樹名板については追加設置予定。	
		園内のマムシや蜂などの自然的ハザード等について、注意告知看板を設置し、注意喚起に努めるほか、万一の場合に備えた救護体制や連絡体制を整備	○	○	●	●	●	危険生物についての看板は設置済み。	生物の成育状況を把握しながら適宜注意喚起を行う。	
地域との連携による公園の魅力アップ		地域との連携による利用促進をさらに充実し、地域一丸となった公園の盛り上げ	○	○	●	●	●	9月に地元市民団体との共催による「洋之介ファンフェスタ」開催に協力。	「洋之介ファンフェスタ」の定期開催に向けた積極的な支援を行う。	
		園内で展開するボランティア活動を立上げ、生態調査等県民参加型の管理運営を確立	○	○	●	●	●	生態調査のベースとなる植生調査を観音崎自然博物館に委託。	地元ボランティアへの植生調査参加を呼びかけ。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
3 本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方										補足資料
【葉山公園】 花と景観の名所としての継承とその生育環境の保全と活用を図り、新たな魅力づくり	クロマツ林の保全育成と景観の向上、クロマツの定期診断の実施	○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員の下マツの診断を実施し保全育成に努めている。	今後も年1回のクロマツの定期健康診断を実施予定。病害虫に被害が発生した場合は迅速に対応予定。		
	草花・花木による魅力作り、ハマナスの保全と育成	○	○	●	●	●	新たに観音崎自然博物館の協力によりスイセンの植栽を実施し、花の見所を作った。	今後も観音崎自然博物館の指導により的確に実施予定。		
来園者の多様なニーズを確実に捉え、適正で柔軟な即座の対応	的確な利用案内と指導（火気使用禁止の徹底）	○	○	●	●	●	公園内でのバーベキュー禁止について、利用者に理解と協力を求め指導した。	今後も利用者に理解と協力を求めながら火気使用禁止の指導を行う。		
	周辺住民に影響を与えない駐車場の円滑運用	○	○	●	●	●	繁忙期には国道からの入口にも誘導員を配置し、狭小なアプローチ道路の安全を確保。	今後も混雑時に臨機応変に誘導員を配置して安全を確保する予定。		
安全で快適な利用を支える確実な施設管理運営の実施	管理水準回数以上の除草の実施	○	○	●	●	●	管理水準以上の除草、刈り込み等を実施公園の品位を常に保つ努力をしている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。		
	清潔で快適なトイレ清掃（毎日）	○	○	●	●	●	毎日実施する園内清掃、トイレ清掃を実施し高品位な維持管理に努めている。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。		
	遊具広場の安全点検	○	○	●	●	●	毎月の定期検査と年1回の精密点検を実施。	今後も継続して遊具の安全・安心に努める。		
【はやま三ヶ岡山緑地】 貴重な緑地と景観の名所を継承し多様な生物の生育環境を保全	安全で明るく、快適な園路と広場の確保	○	○	●	●	●	直営による除草と剪定を行い明るく、快適な環境を維持。	展望確保による景観展望を利用者へ提供。		
	植生分布調査を実施し、貴重種の生育箇所の把握を行い保全と育成	○	○	●	●	●	希少植生の分布に配慮しながら除草管理を実施	今後も継続実施。		
来園者の多様なニーズを確実に捉え、適正で柔軟な対応	案内誘導看板の整備	○	○	●	●	●	老朽化、破損した看板を適宜整備。危険箇所についても看板を追加設置。	必要に応じて適宜看板を設置予定。		
	自然観察利用の支援	○	○	●	●	●	園内案内マップをホームページ上に掲載。	ハイキングマップの整備を予定。		
安全で快適な利用を支える確実な施設管理運営	老朽化した急勾配の階段園路を補修し安全確保	○	○	●	●	●	県土木と連携しながら階段園路の補修を実施。	今後も安全確保に向けて補修を実施。		
5 執行体制の内容										補足資料
本部と現地の役割分担	本部に統括管理部門を、現地に公園管理事務所を置き、方針決定や総務・会計及び業務執行等並びに県や関係機関との連絡調整などの重要事項は現地事務所と本部が連携して適切な管理運営を実施	○	○	●	●	●	日常の連絡調整や毎月1回の園長会議の開催などにより、公園管理事務所と協会本部が連携を図り、適切な管理運営業務を実施した。	「公園管理運営自己評価システム」や外部特別指導員等による業務点検など、協会全体で実施する事業も引き続き取り入れ、本部と調整を図りながらコスト削減に努め、効率的・効果的な管理運営を遂行していく。		
現地の職員配置	公園の統括責任者である園長の下、公園管理運営スタッフが一体となった業務の遂行	○	○	●	●	●	統括責任者としての常勤園長の下、スタッフが一体となって管理運営業務を遂行した。	園長を統括責任者としたスタッフ体制により組織の円滑な推進を図っていく。		
業務の一部委託	事業計画書の「委託業務予定一覧表」に基づき、スタッフの安全面や効果性、効率性の観点から一部業務の外部委託を実施	○	○	●	●	●	遊具点検業務を外部委託により実施した。	公園協会の規程に基づく委託業者選定・チェック・指導監督を適切に行い、安全で効果的な委託業務の実施に努めていく。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
6 緊急時の体制										補足資料
事故や災害発生時などの緊急時の体制及び初期対応	事件、事故発生の場合		○	○	●	●	●	緊急連絡表を作成し、管理事務所内に掲示し対応	緊急連絡表を最新に更新しながら対応。	
	大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生が予測される場合		○	○	●	●	●	昨年度の津波警報を活かし即応体制を策定	災害対策活動指針の見直しを検討	
	大雨、暴風、落雷、大雪等による災害が発生した場合		○	○	●	●	●	本年度は、園内において大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生はなかった。	今後も気象災害に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
	大地震が発生した場合		○	○	●	●	●	本公園が位置する地域において震度5以上の大地震の発生はなかった。	大地震に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
災害時に備えた日常対応	朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有、意識の統一		○	○	●	●	●	毎朝の朝礼や、月1回のスタッフ全員のミーティングを通じて情報の共有、全員の意識統一を図った。	日常のスタッフ間の情報伝達を円滑に行い、災害時に備えた意識統一を進めていく。	
	管理事務所内へのAEDの常備		○	○	●	●	●	管理事務所にAED1台を設置し、救急時に備えた。(本年度の使用実績はなし)	引続きAEDを常備するとともに、定期的な点検、作動方法のスタッフ講習を定期的に行っていく。	
	防災訓練、救命講習の年1回以上の実施		○	○	●	●	●	公園主任が上級救命講習を受講。	津波を想定した避難誘導訓練の実施に向けた検討を行う。	
	防災設備の定期稼働点検		○	○	●	●	●	三ヶ岡山緑地の園路沿いに消火器を5基設置済み。	今後も山林火災に備えた消火設備の設置や点検を実施予定。	
7 人材の育成計画										補足資料
公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての考え方(方針)	・技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成		○	○	●	●	●	・昨年度より実施してきた研修プログラムを、5年間の方針に基づき適宜実施し、更なる内容の充実を図った。具体的実施内容は以下のとおり。	・私たちのノウハウでもある、 ①「公の心」を育み、愛される質の高い公園づくり ②かながわの郷土愛の醸成、新しい喜びの公園づくり ③人と地域とともに育つ公園づくり ④多様な生物が育む資源循環型の公園づくり これらをさらに強化するよう、現在の研修プログラムを見直し内容の充実、PDCAによる公園の品質管理の向上、また時代のニーズに沿う柔軟な発想での新たな研修プログラムの導入により、職員の資質向上を図るとともに、研修方針の実現に努めていく。	
	・外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上		○	○	●	●	●	◆公園管理自己評価システム 当協会の「自己評価システム運営要綱」に基づき、四半期毎に自己評価会議、及び外部評価員によるヒアリング等を実施し、職員間で事業計画の確認、確実実施、履行確認を行った。 さらにその中から改善点を見出し、改善目標の設定と改善への取組みを行うことで、意識改革と資質向上、管理水準の維持ならびに向上に努めた。		
	・新たな研修プログラムの導入		○	○	●	●	●	・当協会全体研修として公園利用の多様化に応えるため、ボランティアコーディネーター研修を実施した。		
接遇研修の実施			○	○	●	●	●	・毎日の朝礼(もしくは昼礼)により、公園行事等利用確認、作業の安全確認、伝達事項等、園内情報の共有を行うとともに、挨拶唱和を実施し、気持ちの良い接遇の日常化を目指した。 ・グリーンサポート特別指導員により、新規採用者等の接遇研修(挨拶・会話等の教育指導)を実施し、より質の高い意識と接客対応を目指した。 園長等を対象に、グリーンサポート特別指導員による「接遇リーダー研修(前期・後期)」を実施し、接遇向上に取り組んだ。	・今後も継続して朝礼を実施し、気持ちの良い接遇対応の徹底を図るとともに、利用者への対応で提案している、「パークコンシェルジュ」を目指す。また、ロールプレイングの継続実施により、的確な初期対応を確立する。	
	事務処理研修の実施		○	○	●	●	●	・確実に迅速な事務処理を実施するため、本部職員による事務処理研修、担当者会議(副園長会議、利用促進担当者会議等)を行った。	・業務の効率化及び事故防止の観点から、今後も定期的に実施する。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25				
公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての具体的な計画	安全管理研修の実施		○	○	●	●	●	・個人情報取扱いについては、接遇リーダー研修において周知徹底を図った。	・引続き、説明会や勉強会を実施して個人情報の取扱いについての意識の情勢を図る。		
			○	○	●	●	●	・緊急時対応研修として、発災時の的確な対応を行うための訓練を、地元消防署の協力により実施した。	・発災時の的確な行動の担保及び、二次災害等防止のための訓練を実施する。		
			○	○	●	●	●	・公園協会全体講習として、新規職員、資格更新職員を対象に上級救命講習を実施し、応急処置・AEDの取扱方法等を受講した。	・今後も継続的に受講し、職員の知識、技術を一定レベルに保つ。		
			○	○	●	●	●	・遊具での事故を未然に防ぐため、公園管理主任を対象に、(社)日本公園緑地協会ほか主催の「遊具の日常点検講習会」を受講した。合わせて、受講した管理主任をリーダーとし、所属のパート職員にOJTを実施した。	・定期的なOJTによる知識レベルの維持及び平準化と、点検不備・事故ゼロを目指す。		
			○	○	●	●	●	労働安全衛生研修として、新規採用の公園主任は民間の技術教習所において、刈払機安全講習を受講し、作業リーダーとして所属のパート職員にOJTを実施した。	・スタッフの入替え等必要に応じ、民間技術教習所での安全教育を受講し、受講した職員によるOJTにより、職員の労働安全を確保する。		
			○	○	●	●	●	・労務上の事故防止を目的に、民間の技術教習所において、チェーンソー特別講習を受講した。	・スタッフの入替え等必要に応じ、民間技術教習所で特別講習を受講し、作業上の事故を未然に防ぐ意識を醸成する。		
			○	○	●	●	●	・職場内におけるKYT（危険予知トレーニング）を適宜実施し、労働上の事故防止及を実施した。	・公園主任をリーダーとし、KYTを定期的実施し、労働災害・事故ゼロを目指す。		
	植物管理研修の実施		○	○	●	●	●	・樹木の適正管理、及び魅力的な花景観の創出等を目的に、グリーンサポート特別指導員による各種研修を実施した。 ・樹木等の適正管理及び薬剤使用の安全確保を目的に、県農業技術センター主催の防除関係者講習会を受講した。	・安全でより良い景観づくりを目指し、次年度以降も研修を継続していく。		
			○	○	●	●	●	・樹木の適正管理及び公園の景観整理を目的に、グリーンサポート特別指導員による「四つ目垣・支柱の作成」研修を実施した。	・公園全体のより良い景観づくりを目指し、研修を実施する。		
	公園マネージメント研修の実施		○	○	●	●	●	・外部セミナー等への参加として、(財)公園緑地管理財団や(社)日本公園緑地協会主催の講習会等に対象職員を参加させ、情報の共有及び各公園への伝達により効果的効率的な公園の運営管理を実施した。	・職員のスキルアップとして次年度以降も定期的に受講し、より効果的、効率的な公園の運営管理の参考としていく。		
			○	○	●	●	●	・園長が主体となり、所属職員の意識改革及び業務確認、ならびに安全確認、進捗状況の確認を目的としたミーティング（全体会議）を月例で実施した。	・今後も、所属職員に公園管理運営方針と実施方法等を浸透させ、提案事項の確実実施を目指す。		
	利用促進研修の実施			○	○	●	●	●	・公園協会全体研修として、グリーンサポート指導員を講師としたボランティアとの関わり方についての研修を平成23年1月に実施した。	・今回の基礎的な研修を基に、より具体的な手法を学ぶための研修を実施していきたい。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

事業計画書の内容			○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
9 公園の安全管理 <span style="float:right">補足資料</span>										
園内施設全般の安全管理方策	各種施設点検の実施	各種施設点検の実施	○	○	●	●	●	施設点検パトロールを9月に実施し対応。	今後も継続実施。	
	各種マニュアルの活用と整備	各種マニュアルの活用と整備	○	○	●	●	●	マニュアル以上の安全点検を実施。	今後も継続実施。	
	点検と連動した速やかな施設修繕の実施	点検と連動した速やかな施設修繕の実施	○	○	●	●	●	直営による発見即対応による施設修繕を実施。	今後も継続実施。	
	施設賠償責任保険への加入	施設賠償責任保険への加入	○	○	●	●	●	加入済み。	今後も継続実施。	
主な施設の安全管理方策	危険な生物と対処を学ぶ研修会の実施	危険な生物と対処を学ぶ研修会の実施	▲	○	●	●	●	危険な生物の対応マニュアルを設置し周知を図った。	今後も継続実施。	
	遊具点検に関する研修会の実施	遊具点検に関する研修会の実施	▲	▲	●	●	●	研修会の実施予定がなかった。	実施に向けて検討。	
	各種警報発令解除後に安全点検パトロールを実施	各種警報発令解除後に安全点検パトロールを実施	○	○	●	●	●	常時警報後には迅速にパトロールを実施した。	今後も継続実施。	
施設運営面での完全管理方策	作業スタッフの安全確保	作業スタッフの安全確保	○	○	●	●	●	KYT思想に基づき安全を確保。	今後も継続実施。	
	利用者に対する安全確保	利用者に対する安全確保	○	○	●	●	●	作業時には周囲の安全に注意を払いカラーコーン等で安全距離を確保して実施。	今後も継続実施。	
	ボランティア活動における安全確保	ボランティア活動における安全確保	▲	○	●	●	●	ボランティア研修に参加し安全確保に対応	今後も継続実施。	
防犯対策の実施	昼間の防犯対策： 利用者との連絡体制の確保・維持管理上の配慮・地域との連携・年末年始の防犯体制の確保	昼間の防犯対策： 利用者との連絡体制の確保・維持管理上の配慮・地域との連携・年末年始の防犯体制の確保	○	○	●	●	●	管理員、駐車場担当員が常に防犯を意識して業務に従事。	今後も継続実施。	
	夜間の防犯体制： 警備業者による園内巡回警備・警備業者への指導、連絡体制の徹底	夜間の防犯体制： 警備業者による園内巡回警備・警備業者への指導、連絡体制の徹底	○	○	●	●	●	御用邸警備の警察官により園内巡視の実施。	今後も継続実施。	
10 利用者への対応 <span style="float:right">補足資料</span>										
接遇対応及びその研修等	改善に向けた取り組み： 朝礼でのあいさつ唱和・内部研修等による公園及びその周辺情報の取得・特別指導員による接遇研修と接客対応評価指導	改善に向けた取り組み： 朝礼でのあいさつ唱和・内部研修等による公園及びその周辺情報の取得・特別指導員による接遇研修と接客対応評価指導	○	○	●	●	●	年間を通じて各種研修へ管理スタッフが参加。	今後も管理員の意識向上の研修を実施。	
苦情処理の対応及びその研修等	苦情・要望の記録と土木事務所への報告	苦情・要望の記録と土木事務所への報告	○	○	●	●	●	毎月月報にて報告。	今後も継続報告。	
	公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムを構築	公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムを構築	○	○	●	●	●	苦情要望のデータベースシステムで、本部での一元管理を実施。	苦情要望データベースシステムを活用し、このデータをもとに苦情対応ロールプレイ研修の充実を図る。	
利用者への公園利用指導及びその研修等	苦情対応のロールプレイング研修の実施や他の公園職員との合同勉強会の開催	苦情対応のロールプレイング研修の実施や他の公園職員との合同勉強会の開催	○	○	●	●	●	昨年度に引き続き現地での接遇訓練を実施。	今後も実施予定。	
	パンフレットやウェブサイトによる、親切丁寧な有料施設等の受付案内	パンフレットやウェブサイトによる、親切丁寧な有料施設等の受付案内	○	○	●	●	●	公園ホームページで情報を公開。	最新情報に更新したパンフレットを作成予定。	
利用者ニーズの把握と反映	関係法令やルールに関わる内部研修の実施や、他公園との合同勉強会による事例と情報の共有	関係法令やルールに関わる内部研修の実施や、他公園との合同勉強会による事例と情報の共有	○	○	●	●	●	副園長会議等の実務担当者レベル研修を実施し、他公園とも横断的に情報を共有した	今後も継続実施。	
	日々のコミュニケーションや電話、手紙、メール、アンケート等による意見の把握と反映、改善	日々のコミュニケーションや電話、手紙、メール、アンケート等による意見の把握と反映、改善	○	○	●	●	●	アンケートを適宜実施し、管理運営に反映。	今後も継続実施予定。	
	外部評価による評価と業務改善	外部評価による評価と業務改善	○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員の指導報告に基づき指摘された問題点を改善。	今後も継続実施予定。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	事業計画書の内容		○計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25				
1 1	利用促進方策										補足資料
知ってもらい、利用してもらい、再訪してもらえる公園づくり	四季の彩りを感じてもらおう自然観察会の開催		○	○	●	●	●	(社) 観音崎自然博物館と連携した観察会を年2回開催。	今後も定期的に開催予定。		
	スタンプラリー (葉山)		△	○	●	●	●	葉山から三ヶ岡山にかけてのスタンプラリーを開催	今後も定期的に開催予定。		
	各種利用促進イベントの実施		△	○	●	●	●	利用者ニーズを探りながら実施計画を検討	今後も定期的に開催予定。		
利用促進方策の新たな提案と閑散期の園内施設の有効活用	冬のバードウォッチング (葉山)		○	○	●	●	●	(社) 観音崎自然博物館と連携した観察会を年2回開催。	今後も定期的に開催予定。		
	清掃ハイキング (三ヶ岡山)		△	△	●	●	●	地元自治会等との調整が不十分	今後も定期的に開催予定。		
利用促進のための広報	公園ホームページの開設と運用		○	○	●	●	●	公園ホームページでタイムリー情報やイベントの募集案内を実施し効果を得た。	内容の更なる充実を図る。		
	外部有料広告の活用		○	○	●	●	●	イベントの参加募集案内をミニコミ誌(タウンニュース)に有料広告を実施し効果を上げた。	今後も継続実施予定。		
1 2	自主事業の運営										補足資料
駐車場管理運営計画		繁忙期にも周辺道路が渋滞混雑しないよう円滑な管理運営	○	○	●	●	●	地元の高齢者雇用促進として「葉山町生きがい事業団」に委託し円滑な運営を実施。	冬季の土日祝日利用も多く、有料化の検討を行う。		
自動販売機の設置		利用者の利便性と景観等に配慮した自動販売機の設置	○	○	●	●	●	自動販売機は既に3基を設置して利用者に提供。	今後増設が必要が検討。		
1 3	地域や関係機関との連携										補足資料
県民及び住民参加、ボランティア団体による協働	地元ボランティアとの協働		▲	▲	●	●	●	地元ボランティアの把握が不十分。	ボランティア活動導入に向けた受入体制の確保。		
	町内会、観光協会との協働		▲	▲	●	●	●	町内会へのアプローチが未実施。	地元観光協会へのアプローチを検討。		
	市民団体との協働		○	○	●	●	●	「洋之介ファンフェスタ」開催への協力。	毎年開催に向けて調整。		
地域への貢献	御用邸警備の警察との連携による防犯活動		○	○	●	●	●	夜間のパトロールを依頼し園内の安全確保を実施。	今後も地元警察との連携強化。		
	連合町内会との連携による愛護活動		○	○	●	●	●	町内会へイベント参加を呼びかけ。	町内会へは今後も積極的に活動を呼びかけ。		
関係機関との連携	(社) 観音崎自然博物館との連携		○	○	●	●	●	自然観察会と植生調査の指導。	海浜植物の保護育成に向けた連携強化。		
	葉山町生きがい事業団との連携		○	○	●	●	●	地元高齢者雇用機会拡大による駐車場管理運営。	利用者接遇向上に向けた研修の実施。		



# 県立葉山公園 自然観察会のご案内

## 海辺の植物と鳴く虫を観察しよう

太陽がまだまだ元気な夏の海辺で野草や昆虫などを観察します。

葉山公園から隣接地である御用邸前の海辺を歩きながら観察しますので、

お子様から大人の方までどなたでもお気軽に参加できます。

- 開催日：平成22年9月4日(土)
- 集合場所：葉山公園 ※休憩所前に集合してください。
- 集合時間：10:00(終了予定:12:00)
- 定員：先着30名
- 参加費：無料
- 参加資格：どなたでも(小学生以下は保護者同伴のこと)
- 持ち物：帽子、タオル、飲み物
- 指導協力：(社)観音崎自然博物館
- 締め切り：9月2日(木)

申込方法：FAX または電話で

参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上お申込下さい。

電話受付は月曜日～金曜日の9:00～17:00の間になります。

申込先：〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8

関内ファーストビル6階

(財)神奈川県公園協会

TEL 045-651-0931 FAX 045-651-0932

主催：(財)神奈川県公園協会

<http://www.kanagawa-park.or.jp/hayama/>



## 県立はやま三ヶ岡山緑地

# バードウォッチングハイキング！

## ～ 野鳥観察ハイキングのご案内 ～

- ・ 内 容： 県立葉山公園をスタートしてはやま三ヶ岡山緑地までハイキングしながら夏鳥を観察します。観音崎自然博物館のスタッフが指導にあたります。森林浴も兼ねたバードウォッチングにぜひご参加下さい！
- ・ 開 催 日： 平成22年5月22日(土) ※雨天中止
- ・ 集合場所： 県立葉山公園  
(解散場所：旧葉山町役場広場を予定)
- ・ 集合時間： 9：00 (終了12：00を予定)
- ・ 定 員： 先着30名
- ・ 参加費： 無 料
- ・ 参加資格： どなたでも (小学生は保護者同伴のこと)
- ・ 締め切り： **5月19日(水)**



- ・ 申込方法： FAX または電話  
(電話受付は月曜日～金曜日の9：00～17：00)  
参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、下記までお申込ください。
- ・ 申 込 先： (財)神奈川県公園協会 担当：菅原  
TEL 045-651-0931 FAX 045-651-0932

- ・ 指導協力： 社団法人 観音崎自然博物館
- ・ 主 催： 財団法人 神奈川公園協会

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukayama/>

